

人と人が集うやすらぎの住まい 緑豊かな地域に新たなコミュニティが誕生します



完成予想図（イメージ）

3階建て28戸 全室にキッチン・浴室・トイレ / 1階に食堂・ラウンジ / 2階・3階に談話コーナー

とちぎコープは2000年より福祉事業に取り組み、2006年に「社会福祉法人ふれあいコープ」を設立し事業を移管しました。協力・連携し、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりをすすめています。

この度、新たに「サービス付き高齢者向け住宅」の利用事業に取り組めます。とちぎコープが建築し、ふれあいコープが運営を担います。場所は、宇都宮市緑の「ふれあいコープ」の敷地内。生活しやすいバリアフリー構造で、ケアの専門家による安否確認や生活相談などの見守りサービスが受けられます。また、敷地内には、特別養護老人ホームの他、在宅生活を支援する訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所、グループホームが隣接しており、状況に応じて様々なサポートが可能です。家事援助などを行う有償ボランティア（おたがいさま）やコープの移動店舗でのお買い物等、充実した生活を送るための支援もあります。

5月に地鎮祭を行い、現在、着々と工事がすすんでいます。

コープのサービス付き高齢者向け住宅

2024年春入居開始予定

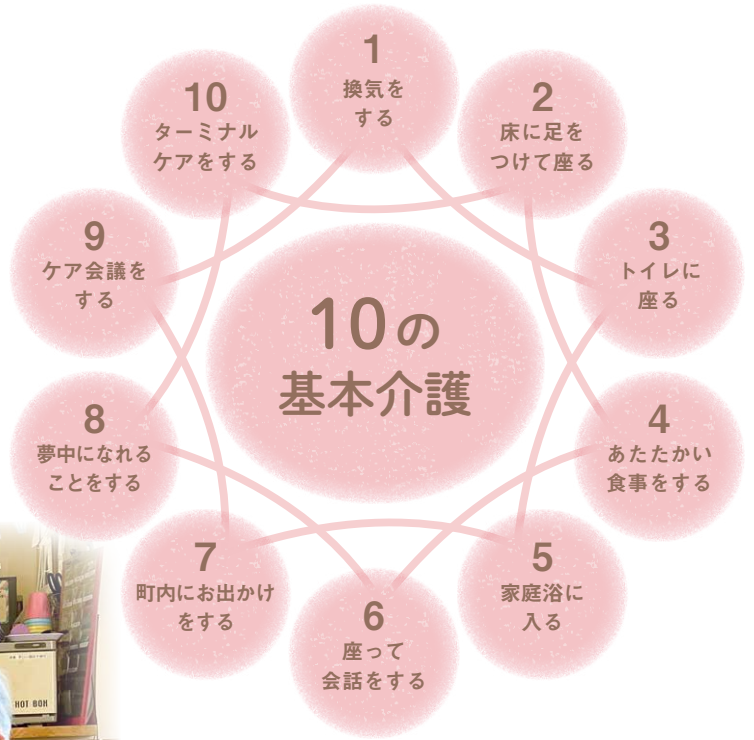
とちぎコープが建築・ふれあいコープが運営





私たちは、多くの人々と協同して、一人ひとりが尊厳を持って、安心して暮らせる、地域福祉を目指します。

なじみのある地域で、いつまでもずっと暮らし続けたい。そんな当たり前の願いを実現するために、介護の基本「10の基本介護」に取り組んでいます。生活の基本から社会との関係、そして人生の最期まで周りの人々と喜びを共有できるケアを目指しています。1から10まで順番に行うことで、大切な人を寝たきりにさせないトータルケアへとつながります。



介護の現場から

社会福祉法人ふれあいコープ
特別養護老人ホームみどり・
みどりの樹施設長 藏谷友香

私たちの特養みどり・みどりの樹では「10の基本介護」を中心に、日中は起きてトイレへ行きオムツをしない(日中オムツ使用者はゼロです)「尊厳を護る」、できることはご自分でやっていただく「自立支援」に取り組んでいます。しかしながら、10

の基本介護は「身体が弱くなったから」「施設に入居したから」実施するものではありません。介護は突然必要になることもあります。元氣なうちから学び、知識を深め、自分事として捉え、日頃から備えることが大切です。そして誰しもに老いや死はやって来ます。その時を自分ごとのように迎えるかをイメージしてみるのも大切かもしれません。

当施設は住宅地の中にありつつ緑豊かな環境にあります。施設周辺の水生植物園や総合運動公園への散歩ができ、カンセキスタジアムから白熱の歓声が聞こえることもあります。地域の方に向けての「健康体操教室」や「ふれあいサロン」などを行うことで相互の理解や協働関係を構築しています。これからも風通しの良い施設を目指し、誠実な運営を心掛けてまいります。何かお困りごとやご相談がございましたら是非お気軽にお問い合わせいただけると幸いです。

